

個別戦略毎の取組成果と課題

< 現戦略 >

	取組成果（詳細は別紙）	課題	今後必要と思われる取組
戦略1 本道経済の新たな成長を牽引する産業を創る 新エネルギー 高断熱・高気密住宅	戦略1 スマートコミュニティ関連（仮） 【主な成果事例】 ■積雪寒冷地型スマートハウス街区の形成に向けた「ネット・ゼロ・エネルギーハウス」の開発 ■役場庁舎のスマート化（利尻町）	■個別の技術や製品のみでは、新たな事業展開は難しく、それらの組み合わせによる展開が必要だが、ノウハウを有している道内中小企業が少なく、新たな取組に至らない ■道内における水素関連ビジネスの展開に係る具体的方策が必要	■道内企業が有する独自の技術、製品を組み合わせ、新たな製品開発プロジェクトとして展開するためのコーディネートや企業マッチングを行う仕組みづくり ■FS調査結果や今後策定予定の道の「ビジョン」「ロードマップ」を踏まえた取組の促進
戦略2 地域の特徴を活かした産業を育てる バイオマス 環境保全	戦略2 リサイクル関連 【主な成果事例】 ■間伐材チップを原料とした木質繊維断熱材（ウッドファイバー）の製造 ■食品残さから作った飼料を用いたおいしい豚肉のトップブランドに向けた事業体制の構築	■第三次循環型社会形成推進基本計画に掲げられた、「循環資源を原材料として用いた製品の需要拡大」が課題 ■バイオマス由来燃料の利活用については、地域での様々な取組が進められているが、企業による事業化まで至っている事例は少ない	■バイオマスを含む循環資源を用いたリサイクル製品を軌道に乗せるための取組の促進や、更なる販路拡大に向けた方策の検討 ■地産地消型のリサイクルシステムを推進する観点から、地域の循環資源・バイオマス資源を活用した地元企業によるリサイクル産業の創出に向けた取組を進めることが必要
戦略3 成長産業の幅広い関連需要を取り込み参入者を拡大する 省エネルギー関連 次世代自動車関連	戦略3 省エネルギー関連 【主な成果事例】 ■地中熱交換システムの豚舎への応用に関する試験及び開発 →地中熱利用空調・換気システム「エスロンリブクール」として製品化 ■通気性ブロックと樹脂製路盤体を用いた未利用熱による融雪実証 →「E3ロード」として製品化	■道内の技術や資源を事業化につなげ、道内の参入企業を拡大するためには、道内企業の更なる技術・製品開発の促進が課題 ■道内企業の参入促進や市場の活性化を見据えた戦略を検討する必要あり	■道内企業への技術・製品開発への支援による、道内企業の関連技術の取得及び向上と独自技術の開発の促進 ■引き続き道内需要の拡大に向けた普及啓発などの取組を推進
戦略4 環境産業を支援する仕組みを整備する 支援する仕組み	戦略4 支援する仕組み 【主な成果事例】 ■「北海道グリーン・コミュニティ推進ネットワーク」の設立 ■「環境・エネルギー人材育成事業」の実施	■環境産業への参入拡大に向け、事業計画時から製品化後の販売戦略に至るまでの一貫した支援の実施が必要 ■環境産業関連事業に携わる人材育成の強化、確保が課題	■事業化にあたり一貫したコーディネートが可能となるコンサル等の育成やその仕組みづくり ■産学官金ネットワーク組織を活用した企業間連携やセミナーの実施等による人材育成の強化、人材確保のための関係機関との連携強化